



生駒利治議員

環境問題

三陸の環境汚染を未然に防げ

説明会が開催されるよう強く要望

質問 青森県六ヶ所村の放射能再処理工場は、11月より本格操業を開始するようである。

日本原燃では、六ヶ所村に来ていただければ誠意をもって説明をするとのことであるが、当事者の説明責任を考えるなら、こちらに出向き説明すべきである。漁業者と沿岸住民の生活安

定、食の安心・安全、そして沿岸住民の健康を守るため、沿岸市町村長と連携して、住民に納得のいく説明をするよう、強く要請すべきと思うがどうか。

沼崎町長 沿岸住民への説明は、岩手県の要請に基づき、漁業者を対象に昨年3月に開催された1回のみである。同時期に、沿岸15



住民の不安を解消するため、日本原燃による沿岸住民を対象とした説明会の開催が必要です

町の考えを聞く

市町村長が沿岸住民に対する説明会の開催を要請しているが、こちらは無視された形となっている。

このような、一方的な日本原燃の対応は大変残念である。町としては県に対し、日本原燃が沿岸住民を対象とした説明会を開くことを、日本原燃に申し入れるよう要望している。今後、稼動状況などに関する説明会が開催されるよう、強く要望していく。

ノウウイルス対策

風評被害の未然防止策

マスクに正確な報道提供を要請

質問 マスクによるノウウイルスの報道は、カキなどの2枚貝を主な発生源とする「食中毒」の表現から、後半は、人から人への感染がほとんどであることが分かり「感染性胃腸炎」との表現に変わってきた。今後のこともあるので、マスクなどに適切な表現をするなど、二度と風評被害が起きないように強く要望すべきと思うがどうか。

沼崎町長 今シーズンの本町のカキ出荷量は、感染性胃腸炎が全国的に大流行した12月中旬を境に、例年は年末に増加する出荷量が激減した。生食用カキのみならず、加熱用カキにも風評被害が及んだことから、全国のカキ生産県が厚生労働省と水産庁に対し、風評被害の防止と支援措置を要望した。その中で、マスクに対し正確な報道を行うよう働きかけることを要望している。町としても機会をとらえ正確な情報が提供されるよう要請していく。